

JOYO BANK NEWS LETTER

平成 29 年 5 月 11 日

株式会社 常陽銀行

世界銀行グループが運用する海外プライベート・エクイティ・ファンドへの投資について

常陽銀行（頭取 寺門 一義）は、このたび、世界銀行グループが運用するプライベート・エクイティ・ファンド「IFC Emerging Asia Fund, LP」に対し、10 百万米ドルの投資を決定しましたので、お知らせいたします。

本ファンドは、世界銀行グループの国際金融公社（International Finance Corporation、以下「IFC」）の 100% 出資子会社である「IFC Asset Management Company, LLC」が運用するファンドであり、アジア新興国の有望な民間企業を投資対象にしています。

本件は、昨年 2 月に開始した株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長 柳 正憲）及び DBJ アセットマネジメント株式会社（代表取締役社長 堀 浩）との海外プライベート・エクイティ・ファンドを対象とした共同投資プログラムにもとづく投資案件です。アジア新興国に幅広いネットワークを有する IFC グループの投資に参画することで、当該地域の企業の成長を支援するとともに収益獲得を目指してまいります。

なお、アジア新興国の未上場企業を投資対象とした海外プライベート・エクイティ・ファンドへの投資は、当行にとって初めての案件となります。

当行は、今後とも、発展が見込まれるアジア地域への投資を強化し、収益力向上に繋げてまいります。

※主として未公開企業の株式へ投資を行い、投資先企業の成長や再生支援を通じて企業価値を向上させた後、IPO(株式公開)や他社への売却により利益を実現するものです。

記

1. ファンド概要

名 称	IFC Emerging Asia Fund, LP
運用会社	IFC Asset Management Company, LLC(IFC100%出資子会社)
投資対象	アジア新興国市場における IFC 加盟国の企業やプロジェクト
投 資 額	10 百万米ドル

以上



常陽銀行



常陽銀行

〒310-0021 茨城県水戸市南町2-5-5

Tel. 029-231-2151 (代表) www.joyobank.co.jp